

常任委員会の動き

(9月21日～12月22日)

委員会名	案件
第1委員会 総合計画、国際交流、財政、地域コミュニティ、防災など	<ul style="list-style-type: none"> 「福岡市グローバル創業・雇用創出特区の推進に関する条例案」ほか17件の議案審査 「避難計画を初めとする原子力災害対策について」ほか4件の請願審査
第2委員会 子ども育成、社会福祉、保健衛生、教育など	<ul style="list-style-type: none"> 「県費負担教職員の給与負担等の権限移譲に伴う関係条例の整備に関する条例案」ほか9件の議案審査 地方独立行政法人福岡市立病院機構の所管事務調査
第3委員会 商工業、観光、文化、農林水産業、港の整備など	<ul style="list-style-type: none"> 「福岡市地方活力向上地域における本社機能の整備促進に関する条例案」ほか11件の議案審査 「西新地区のまちづくりについて」の請願審査 福岡市農林業総合計画(案)・福岡市水産業総合計画(案)についての所管事務調査
第4委員会 住宅、建築、都市計画、公園、消防、地下鉄など	<ul style="list-style-type: none"> 「平成28年度公営住宅(城浜住宅その1地区)新築工事請負契約の締結について」ほか8件の議案審査 「西鉄天神大牟田線井尻地区における連続立体交差化の早期実現について」の請願審査
第5委員会 環境・ごみ・リサイクル、道路、下水道、河川、水道など	<ul style="list-style-type: none"> 「福岡市建築物における駐車施設の附置等に関する条例の一部を改正する条例案」ほか11件の議案審査 福岡市水道長期ビジョン2028(原案)についての所管事務調査

特別委員会の動き

(9月21日～12月22日)

委員会名	案件
交通対策特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○委員の派遣について ○道路交通の円滑化に関する調査 <ul style="list-style-type: none"> ・都心部(副都心を含む)における交通混雑対策について ・都心部における自転車駐車対策について ・観光交通対策について ○報告 <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄七隈線博多駅(仮称)工区における道路陥没事故について
都市問題等調査特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○外郭団体のあり方に関する調査 <ul style="list-style-type: none"> ・「外郭団体のあり方に関する指針(仮称)」について
少子・高齢化対策特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化対策に関する調査 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者保健福祉施策の実施状況について
議会改革調査特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○議会改革に関する調査 <ul style="list-style-type: none"> ・本会議・委員会の公開性向上に関すること ・議会活動に対する住民理解の促進に関すること ・市民意見の反映に関すること

【問い合わせ先】

議会議務局議事課(市役所議会棟8階)
☎ 711-4746 FAX 733-5869

て、重点的に取り組むべき課題と計画案に位置付けている。今後、木材の生産者・加工業者などと連携しながら、流通の仕組みづくりに取り組み、本市林業の振興を図っていく。

問 道路陥没事故の原因究明を徹底し再発防止策を

答 博多駅前前の道路陥没事故は、直接のけが人が出なかったのは幸いであるが、断じて起きてはならない重大な事故である。今求められているのは、原因の徹底究明と再発防止に尽きるが、事故のこれまでの経緯を振り返っての所見を。

問 道路陥没事故を発生させ、周辺に大きな影響を与えて迷惑と心配をかけたことを大変申し訳なく思っている。国の検討委員会による原因究明を踏まえ、再発防止、市民の信頼回復に全力を尽くす。

問 道路陥没事故に関する資料を公開し議会の検証に付すべき

答 道路陥没事故が起きても市長は無責任な発言を行い、原因究明は国任せにするなど問題だらけである。姿勢を根本的に改め、関係資料を速やかに公開して議会等の検証に付すとともに被害者に速やかに全額補償すべきではないか。

問 市は、国の検討委員会に対して、資料の提出などに真摯に対応することで、徹底した調査検討が行われ、再発防止につながることを望んでいる。被害者には、請負業者と共同して誠意を持って対応し、早期の賠償が必要だと考えている。

問 道路陥没事故は不十分な地質調査が原因ではないか

答 今回の陥没事故では、ナトム工法を採用したことが原因となったのではないかと報道されているが、工法のあり方の方に、地質調査の不十分さが何においてもこの事故の原因であり、市の責任は重大であると考えているが所見を。

問 今回のナトム工法区間における地質調査は、設計時までに6本のデータを、平均で約33メートルに1本のデータを用

いている。既設の七隈線に比較して約3.5倍の密度であり、設計する上で十分な本数と考えている。

問 道路陥没事故の資料提出と再発の防止を

答 直前の地下の写真や現場作業員の聞き取り調査書を、早急に議会に提出するよう求める。今回の事故を人災と受け止め、今後の地下鉄延伸工事における事故の再発防止と安全・安心に向けた決意を問う。

問 資料は、国の検討委員会において最終的な結論が出た後に公開することとしている。事故の再発防止には原因究明が重要と考えており、検討委員会による原因究明を万全な再発防止につなげ、市民の信頼回復に全力を尽くす。

問 西鉄高宮駅におけるバス乗り継ぎ利便性の向上を

答 南区の基幹的な公共交通であるバス交通の充実に向け、西鉄高宮駅における鉄道とバスの乗り継ぎ利便性の向上が不可欠であるが、駅出入口のすぐ近くまでバ

スを引き込むことで乗り継ぎ距離を短縮させることはできないのか。

問 西鉄高宮駅において、バスとの乗り継ぎ利便性を向上させるため、東口ロータリーの再整備およびバス停の新設などについて、平成30年春の供用開始を目指し、西鉄や交通管理者などの関係者と協議を行っている。

問 セントラルパーク構想は市民と協働する仕組みづくりを

答 セントラルパーク構想にある大濠公園と舞鶴公園は里山の要素を持つている。その地域の生態系を生かし、利用と保全を図るため、計画や管理にも多様な声を受け入れる必要があるが、市民との協働の具体的な仕組みは。

問 セントラルパーク構想では、市民や地域が管理運営に携わりやすい仕組みづくりを検討することとしている。市民ボランティアによる花壇管理などを実施しており、今後とも、さまざまな意見を取りながら市民と共働で取り組む。

問 天神ビッグバン構想の実現性と将来的課題への配慮・対応

答 天神ビッグバンにより今後予想される就業環境や生

活環境に与える影響について、市の認識の甘さを指摘せざるを得ない。将来的に想定しうる課題全てに対する最大限、かつ、継続的な配慮が必要と考えるが所見を。

問 エクトの進行に伴い、流入人口の増加、交通需要の増加等が予想されるが、都市環境の変化に適切に対応し、安全・安心にも配慮した「人を中心とした、歩いて出かけたくなるまちづくり」に取り組んでいく。

問 水銀汚染の防止に向け水銀使用製品の回収拡大を

答 本市は、九州主要都市と比較して、水銀使用製品の回収拠点や回収量があまりにも少ない。水俣条約の締結や水銀汚染防止法の制定を受け、水銀汚染防止に向けて、他都市をリードしていけるような取り組みへの決意を問う。

問 水銀使用製品の回収については、水銀の人為的排出の削減の観点を踏まえ、回収拠点の拡大に努めるなど、安全・安心のまちづくりを目指す本市としても、条約と関係法令にのっとり、自治体としての責務をしっかりと果たしていく。

問 那珂川の遊歩道と合わせて河畔公園などの積極的な整備を

答 本市を代表する河川の一つである那珂川は、県による遊歩道整備と市による河畔公園整備が一体的になされることで、健康増進やレクリエーションなど地域コミュニティを支える場となる。積極的な取り組みを求めるが所見を。

問 那珂川は市民にとってかけがえのない存在である。県が整備する遊歩道と合わせて、河川敷や公園の整備など、地域の意見を聞きながら、多くの市民に利用される魅力ある水辺空間となるよう、県と連携して取り組んでいく。

問 このほかの主な質問

- 市の施設の民間活用推進について
- 障がい者の交通機関の利用について
- 介護予防・日常生活支援総合事業について
- ひきこもりの支援について
- 博多駅前陥没事故について
- 住宅政策について
- ユニバーサルデザインの理念に基づきまちづくりについて